

【孫子 - AM】

MM1 April28 Rev-A

April16

対象市場: ①、② & ③

「孫子 - AM 〇社グループ Marketing 研修」
【特2 : AM 日本市場分析・成長評価
- 2018年 8月 ~ 2019年11月 における調査結果に基づく】

AM (Additive Manufacturing)
2021年以降の対応

尼子 清夫

代表取締役 MacA M1 株式会社

URL : macam1.com

掲載目次 (縮刷版)

2021年 4月28日

1. 日本 AM 市場評価

1-1. 日本 AM 市場の対象・範囲定義、分類

1-2. 日本 AM 市場 ○社グループの

成長市場目標シェア一例 (2021年 4月28日 / 2020年~ Corona禍影響考慮)

1-3. 日本 AM 市場評価 (1/2 ~ 2/2、2019年12月23日)

1-4. 金属 AM 自動車 & 航空領域を含めた国内全体市場像

1-5. (High-end) 樹脂 AM 自動車 & 航空領域を含めた国内全体市場像

2. 日本 AM 市場成長評価に基づく ○社グループ 成長シナリオ

分類 1. ① 装置販売 + ② コンサル & アフター・マーケット / サービス

2-1. 金属 & 樹脂 AM 日本市場規模

2-2. 金属 & 樹脂 AM 構成

2-3. 金属 AM 日本市場規模と○社グループの目標シェア

2-4. 樹脂 AM 日本市場規模と○社グループの目標シェア

3. 日本 AM 市場成長評価に基づく ○社グループ 成長シナリオ

分類 2. ③ Application +

④ 造形試作 & 生産 ➡ SP (Service Provider) 事業

3-1. 金属 & 樹脂 AM 日本市場規模

3-2. 金属 & 樹脂 AM 構成

3-3. 金属 AM 日本市場規模と○社グループの目標シェア

3-4. 樹脂 AM 日本市場規模と○社グループの目標シェア

1-1. 日本AM市場の対象・範囲定義、分類

4 分類 – 〇社グループ 事業展開に合わせた分類

| No. | 定義 |
|-----|--|
| ① | AM 装置販売 |
| ② | コンサルティング SP (ソリューション 提供)、及び アフターマーケット & サービス ➢ コンсалティング・・・事業性評価, 設計, 試作 及び 量産 ➢ アフターマーケット & サービス・・・メンテナンス, 粉末材料供給、等 |
| ③ | アプリケーション - 下記を含む ・ 最適設計 (ソフトウェア 及び シミュレーション を活用) ・ 品質確立・保証 |
| ④ | ・ RP (Rapid Prototyping), 試作 & 小ロット生産 ・ 量産 (100 ~ / lot) |

2つの事業分類

| No. | |
|------|-------|
| 分類 1 | ① & ② |
| 分類 2 | ③ & ④ |

1-3. 日本 AM市場 評価 (1/2、2019年12月23日)

◆ 金属 AM

<自動車・航空・医療 市場>

1. { ① 装置販売
② コンサル、アフター・マーケット / サービス

| | |
|-------|-------|
| 2018年 | 77 億円 |
| 2020 | 80 |
| 2025 | 97 |

2. { ③ Application
④ 造形試作、生産 (小ロット)

| | |
|-------|-------|
| 2018年 | 28 億円 |
| 2020 | 32 |
| 2025 | 49 |

◆ 樹脂 AM (Middle-end & High-end)

<自動車・産業機械・医療 市場>

1. { ① 装置販売
② コンサル、アフター・マーケット / サービス

| | |
|-------|-------|
| 2018年 | 50 億円 |
| 2020 | 53 |
| 2025 | 64 |

2. { ③ Application
④ 造形試作、生産 (小ロット)

| | |
|-------|-------|
| 2018年 | 12 億円 |
| 2020 | 13.5 |
| 2025 | 19 |

1-3. 日本 **AM**市場 評価 (2/2、2019年12月23日)

👉 **〇社グループ** 経由の市場分析報告書と比較

1. **“MarkNtel Advisors”** 報告書における【産業用途 AM/3DP日本市場】について
 - ◆ <**〇社グループ AM**日本市場分析> との比較から、2019年市場規模予測がまずまず妥当なものと判断される。
 - 他方、市場成長率については やや過大な評価と推察される。
 - 👉 調査手法は基本的に**〇社グループ**日本市場分析と同様を確認しているが、聴き取り対象先や情報収集深堀のレベル・内容、等において劣るため <**〇社グループ AM**日本市場分析> を正として今後評価していく。

2. **“MarkNtel Advisors”** 報告書における【産業用途 AM/3DP APAC (Asia-Pacific) 市場】について

- ◆ **〇社** のこれまでの評価に近いものと推察する。
- ◆ 競合プレーヤに関する情報・分析で **〇社グループ** において既に認識している以外の特別記載は無い。

自動車、航空・宇宙、医療の主要3分野における「既存顧客、潜在顧客リスト」は、APAC 地域特有のリストアップとなっている。

2. 日本 **AM** 市場成長評価に基づく **○社グループ** 成長シナリオ

日本 **金属 & 樹脂 AM** 市場

- 分類 1 ① 装置販売 +
② コンサル & アフター・マーケット / サービス

<注> Corona禍 前の市場評価であり、
2020年の市場規模が2019年比 $\Delta 20\%$
2023年に元の市場評価に戻る ... と見直す。

3. 日本 **AM** 市場成長評価に基づく **○社グループ** 成長シナリオ

日本 **金属 & 樹脂 AM** 市場

分類 2 ③ Application +

④ 造形試作 & 生産

👉 SP (Service Provider) 事業

<注> Corona禍 前の市場評価であり、
2020年の市場規模が2019年比 $\Delta 20\%$
2024年に元の市場評価に戻る ... と見直す。

E N D

尼子 清夫

代表取締役 MacA M1 株式会社

URL : macam1.com